



お台場学園だより



令和8年1月号
港区立小中一貫教育校
お台場学園
〒135-0091
港区台場1-1-5
小学校 03-5500-2572
中学校 03-5500-2575

2026年お台場の子どもたち

校長 吉野 達雄

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎える、子どもたちの元気な声が学校に戻つてまいりました。皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えたこととお喜び申し上げます。

さて、皆さんはどういう冬休みを過ごしましたか？家族で旅行したり、友達と思い切り遊んだりして楽しめたのではないかでしょうか。9年生にとっては、未来に向けての勝負の冬であると思います。あと少しです、頑張ってください。応援しています。

お正月には昔から受け継がれてきた遊びがあります。こま回し、羽根つき、かるた、福笑い、凧あげなど、どれも道具はシンプルですが、工夫や友達とのかかわりの中で、たくさんの学びがあります。昔遊びは、遊びながら集中力や手先の器用さを養うだけでなく、勝ち負けを受け止める気持ちや相手を思いやる心も育ててくれます。私は、駄菓子屋で50円の凧を買い、友達と風吹く寒い土手で凧あげをしました。自分のお小遣いで買える、当時の凧はバランスもよくなく、簡単にあがるものではありませんでした。凧につけるしっぽを新聞紙で作るとときには、太さや長さを微妙に調整し、試行錯誤しながらバランスよくあげたものでした。うまくあがったときのうれしかった気持ちは、今でも覚えています。昔遊びは、世代を超えて楽しめることも大きな魅力です。中学生の皆さんもぜひ、挑戦してみてください。

<充実した一年にするために>

「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。新しい年の始まりは、自分自身を見つめ直し、これからの目標や努力の方向を考える大切な機会です。これらの目標は、その後の学習や学校生活の支えとなり、

日々の積み重ねへつながっています。この義務教育の9年間は、学力だけでなく、思いやりの心や粘り強さ、自分で行動する力を育てる重要な時期もあります。子どもたち一人一人が自分なりの目標をもち、仲間とかかわりながら充実した学校生活を送ることで、大きく成長していくことを心から願っております。

本年も、本校では、子どもたちが安心して学び、挑戦し、失敗から学べる環境づくりを大切にしていきます。教職員一同、子どもたちの小さな成長を見逃さず、励ましながら、それぞれの可能性を伸ばしていけるよう力を尽くしてまいります。

保護者ならびに地域の皆さまの温かいご支援とご協力ををお願いいたします。

<挨拶からはじまる笑顔>

先日、学校の近くですれ違った児童が、にこやかな表情で元気よく気持ちのよい挨拶をしてくれました。ほんの一言の挨拶でしたが、その場の空気が明るくなり、私の心も温かくなりました。挨拶は、相手の存在を大切に思う気持ちを伝える、最も身近なコミュニケーションです。言葉を交わすことで、人と人との距離が縮まり、安心感や信頼が生まれます。私自身は子どもの頃、決して挨拶の上手な子ではありませんでした。母から「挨拶をしなさい」と頭を押されながら、挨拶をした記憶があります。当時は照れくさく、少し恥ずかしい思いもしましたが、今振り返ると、その母の行為がよかったです。子どもに大切なことを伝えようとする親としての思いが、そこにあったのだと感じています。家庭、地域、学校が一体となって、挨拶が行き交い、笑顔があふれる学校にしていきたいと思います。

お台場学園における児童・生徒の生活状況について

新年明けましておめでとうございます。いよいよ今年度も残り三か月となりました。引き続き本校の教育活動へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。新年早々、国内で中学生が高齢者の運転していた車に轢かれ、心肺停止で病院へ運ばれたという痛ましい事故が起きました。このような事故を聞くたびに、学園として登下校時やプライベートの移動についても安全意識を高めるよう指導は重ねています。ご家庭でも、命の大切さや身を守る意識を忘れることのないよう話題にしていただけますと幸いです。

さて、全国体力テストの調査結果(統計)が先月送られてきました。そのアンケートの項目には、スマホの使用頻度や時間に関するアンケートもあります。体力は体や心を支える大切な要素です。体力の合計点は、「小中学生男女ともに前年度より向上しているが、中学校男子を除いて、コロナ前の水準に至っていない。」ということがポイントと言えます。体を動かす習慣をより意識して生活してほしいと思います。スマホに関するアンケートでは、「小中学生男女とも、使用頻度も使用時間も増えている。」統計になりました。平日の学習以外のスクリーンタイム(テレビ・スマホ・ゲーム機等の画面の視聴時間)では、3時間以上見ていると答えた児童生徒は5割程度となっていました。視力にも、学力にも、体力にも大きな影響を与える問題点です。便利で多様になってはいますが、今一度、こちらについてもご家庭で話し合っていただけますよう、お願ひいたします。

(生活指導主任 小:齊藤真由子 中:山本一之)

第2学年 2学期を振り返って

2年生は、学芸発表会で初めての劇「大切なを見つけていざレインボーランドへ！」を演じました。練習する中で上手くいかないものもありましたが、その都度みんなで話し合い、本番は大勢の観客の前で心を一つにみんなが主人公のステージを創り上げることができました。学芸発表会が終わってからも、劇の内容にあるように「信じる気持ち」「挑戦」を合言葉に算数のかけ算やマラソン大会に向けて意欲的に取り組むことができました。

また、生活科「もっともっとまちたんけん」の学習では、台場図書館や台場児童館、the open bakery、ヘアーサロンKEIを見学したり、東京湾岸警察署や子ども食堂、港区芝浦港南地区総合支所協同推進課の方のお話を聞き、質問したりしました。お話を伺う中で、地域で働いている人々と自分たちの生活との関わりについて考え、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々の地域に対する思いに気付くことができました。この学習を経て、地域への愛着が深まるとともに感謝をしながら生活しようという気持ちを強く抱くことができました。

2年生の学年目標「スマイル～思いやりを大切に～」を胸に、3学期も一人一人がさらに成長できるよう駆け抜けていきます。今年度もよろしくお願ひ致します。

【第2学年 金子 真知子・加藤あい】

さざなみ学級の活動（小学校）

さざなみ学級は、今年度で4年目を迎えました。子供たちも年々増え、異学年で日常的に関わることができるという、特別支援学級の良さを感じることができました。

都道府県の学習で、調べた内容をスライドにまとめて発表する学習を行いました。また、子供たちが畑で育てたスイカを収穫し、スイカ割りをしてスイカを味わう活動などを行いました。また、今年も地域にある企業とのコラボ授業を続けており、今年度は、「お台場万博を作ろう！」というテーマで、子供たちが興味を持った国をデザインし合いました。

異学年同士でも日々関わることで、上級生は下級生が困っている様子に気付いて声をかけてあげたり、下級生は上級生の準備や片付けの様子を見て一緒にやろうとしたりするなど、お互いの成長につながっていると感じています。今後も様々な交流活動を行い、児童・生徒の関わり合う力を高めていきたいと思います。

今年もよろしくお願ひいたします。



【小学校 さざなみ学級 行谷 暢 中西 茅 山口 拓巳】

【1月の主な行事】

- 8日(木) 始業式
書き初め大会(中学校)
- 9日(金) 給食始
- 13日(火) 書き初め会(小学校)
- 15日(木) 百人一首大会(5~9年)
- 16日(金) 避難訓練
委員会・英語検定
- 17日(土) いろはかるた大会(1~4年)
海苔ひび立て(5年・7年)
薬物乱用防止教室(6年・8年)
- 21日(水) 全校道德
- 22日(木) ホストスチューデント(中学校)
- 23日(金) ホストスチューデント(小学校)
漢字検定(中学校)
クラブ(小学校)
- 26日(月) レインボー班(小学校)
- 30日(火) 校外学習(8年)
ダンス出前授業(1・2年)



【スクールカウンセラー(SC)・

スクールソーシャルワーカー(SSW)

相談曜日】

- 山田 早苗(SC) 月曜日(中学校)
- 山本 怜菜(SSW) 月曜日(中学校)
- 安間 明子(SC) 火曜日(小中学校)
- 吉原 道代(SC) 木・金曜日(中学校)
- 藤原 遥(SSW) 金曜日(小学校)

電話連絡先

- 小学校 03-5500-2572
- 中学校 03-5500-2575



